




論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第685号	氏名	中島 和慶
学位審査委員	主査 筑波 隆幸 副査 小守 壽文 副査 林 善彦	  	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価          本研究は、血管形成に関与する Ang1/Tie2 が象牙芽細胞に共発現している事を見だし、その局在を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価          マウス歯牙象牙芽細胞における Ang1/Tie2 の局在をマウス歯牙の薄切標本を用いた免疫染色によって解析している。歯胚発生期の象牙芽細胞分化初期から成体歯牙象牙芽細胞まで経時的に両分子の局在を追跡しており研究方法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価          上記手法で解析した結果、Ang1/Tie2 は象牙芽細胞において分化に伴って発現が開始され、それらは成体になっても維持される事を明らかにしている。さらに Tie2 は硬組織形成細胞のなかで象牙芽細胞のみに発現する事を示しており、それらは Ang1/Tie2 の象牙質形成やその形質維持への関与を示唆する有益な所見であると考えられる。</p> <p>以上のように本論文は象牙質特有の構造形成機序解明へ向けた研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと